

MARUZEN CHI
Holdings

丸善CHIホールディングス株式会社(3159)

第15期 2025年1月期 定時株主総会

2025年4月25日

事業報告

(2025年1月期 事業環境・業績)


2025年1月期の事業環境

国内

- 雇用・所得環境の持ち直し
- インバウンド需要増や個人消費の上向き
- インフレ高進による原材料や燃料価格を含む物価高騰

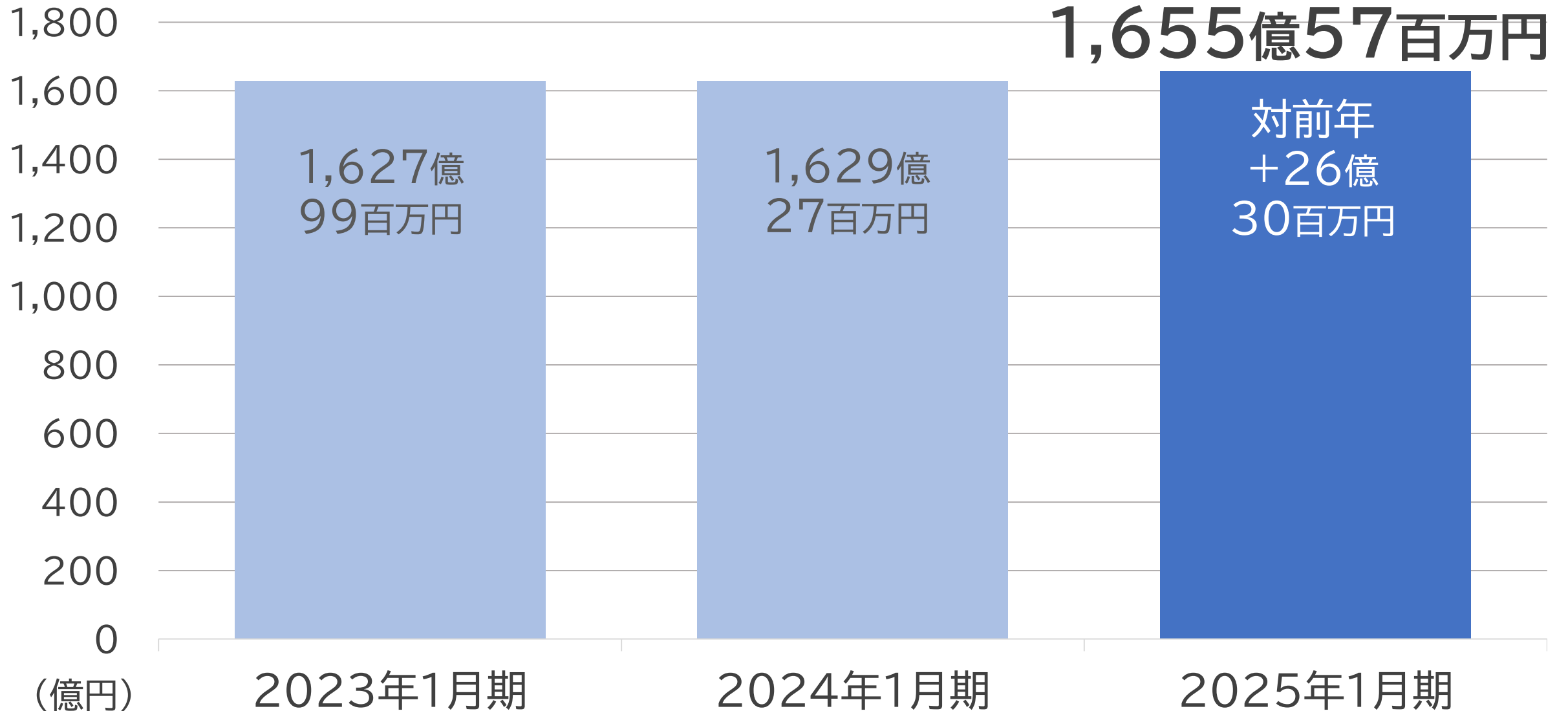
海外

- 先行きが見通せないロシア・ウクライナ、中東情勢
- 中国景気の停滞

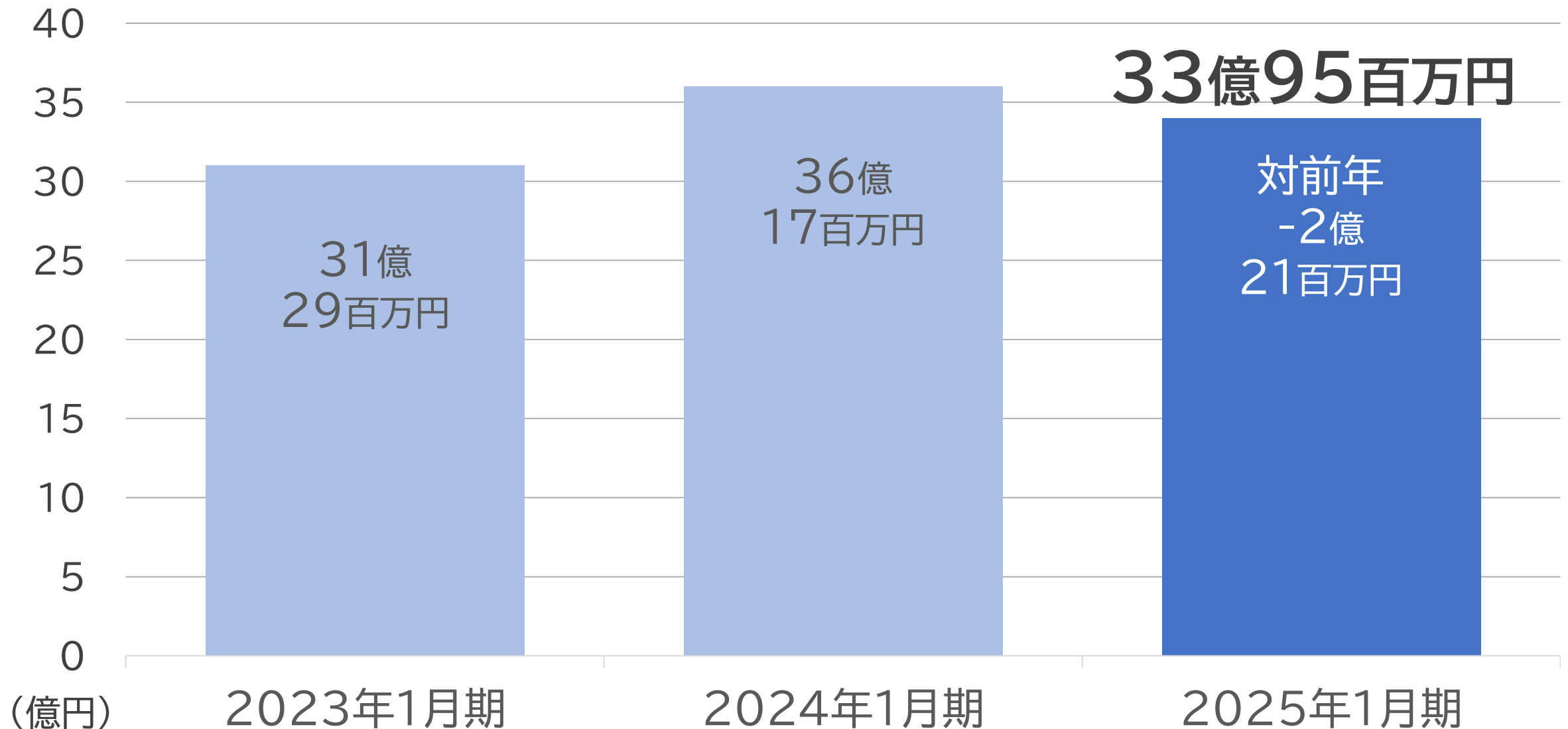


景気は緩やかな回復基調の一方で
国内外ともに先行き不透明な経済環境

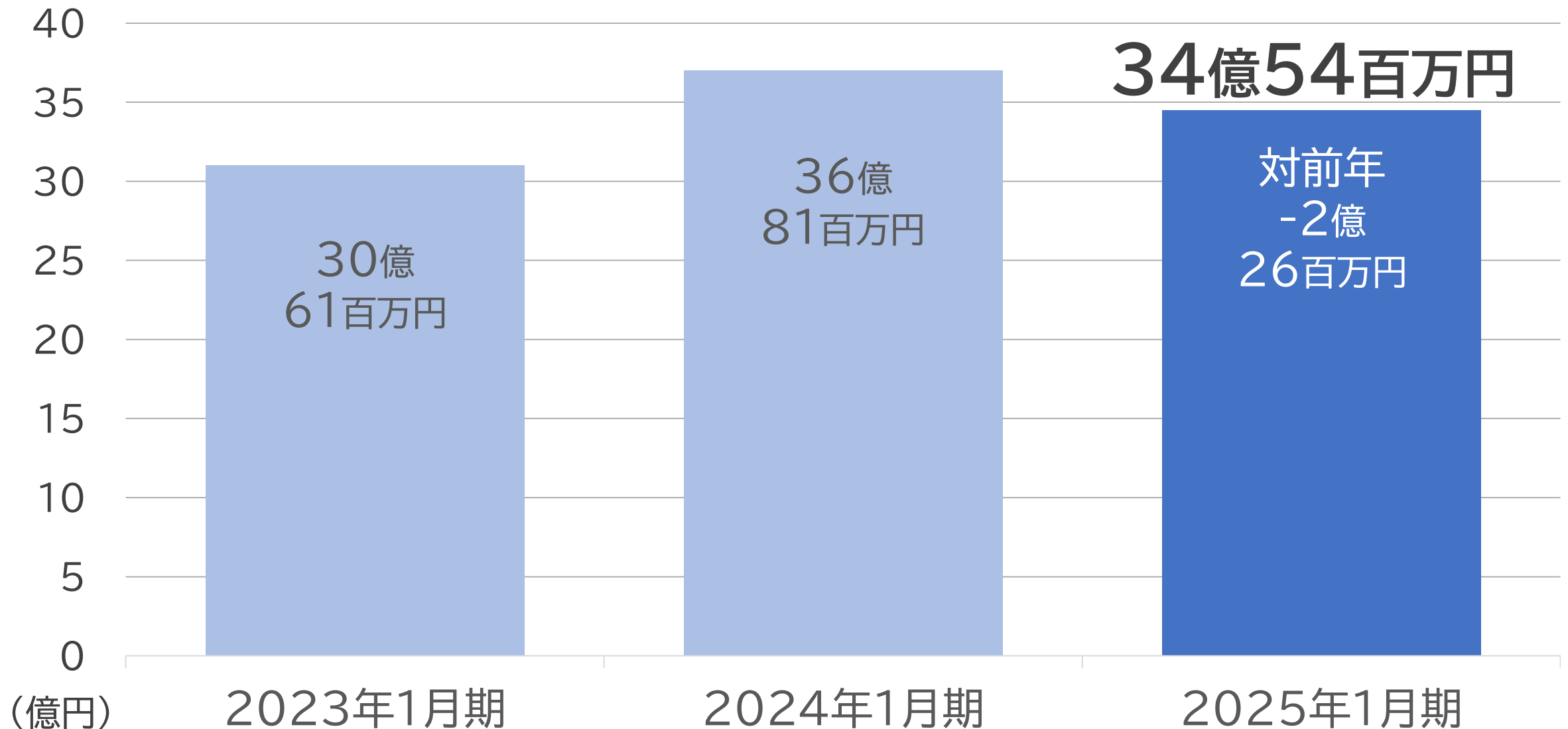
2025年1月期:売上高



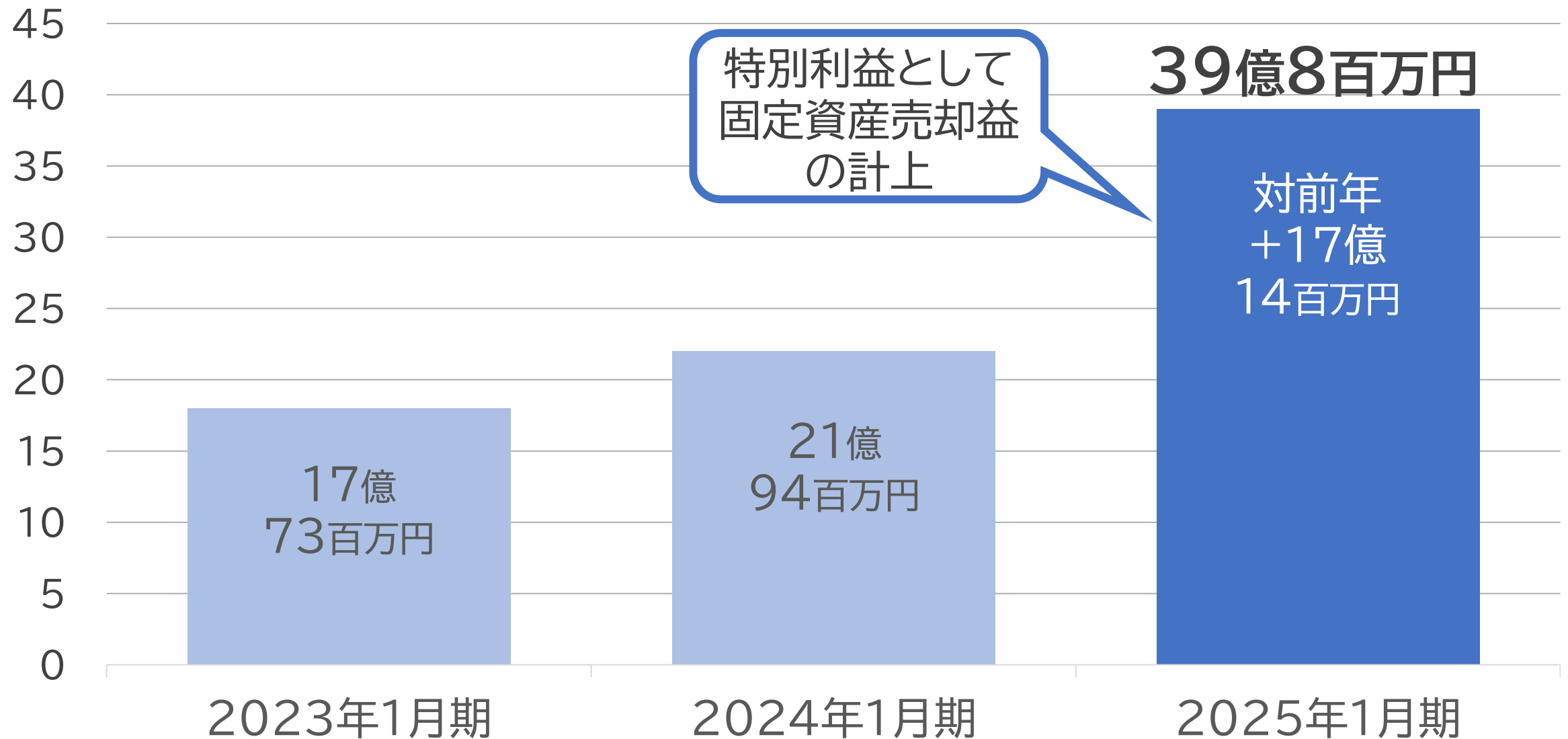
2025年1月期:営業利益



2025年1月期: 経常利益



2025年1月期：親会社株主に帰属する当期純利益



事業報告

(2025年1月期 セグメント概況)

グループセグメント概要

		事業セグメント					
		文教市場販売	図書館サポート	店舗・ネット販売	出版	その他	
事業会社		丸善雄松堂				丸善雄松堂 第一鋼鉄工業所 編集工学研究所	
		図書館流通センター			岩崎書店	明日香 グローバル・ソリューション ・サービス 図書館流通	
				丸善ジュンク堂書店 台湾淳久堂股份有限公司			
		経営理念 価値観：知は社会の礎である グループビジョン：知の生成と流通に革新をもたらし企業集団となる				丸善出版 丸善プラネット	
						丸善リサーチ サービス	

文教市場販売事業

- ・公共図書館向け販売事業
- ・研究者向け販売事業
- ・大学・研究機関向け販売事業

売上高

468億19百万円

対前年 +3億42百万円

営業利益

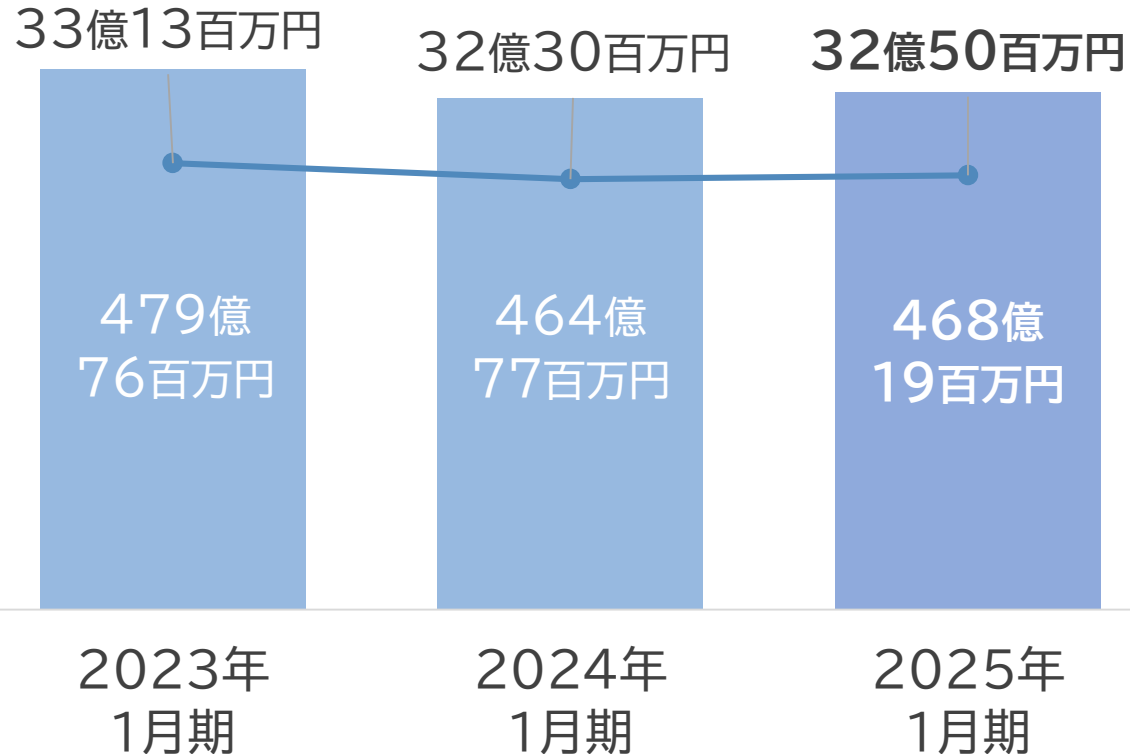
32億50百万円

対前年 +19百万円

[主要事業会社]

株式会社
TRC図書館流通センター

Ⓜ MARUZEN-YUSHODO



業績概要

ほぼ前年並

- 公共図書館向け書籍等販売およびMARC事業は前年並みを維持
- 大学市場は書籍販売は厳しく、教育・研究施設、図書館などの設計・施工は増加

店舗・ネット販売事業

- ・書籍・雑誌 文具・雑貨販売
- ・2025年1月期末店舗数:111店

売上高

営業利益

660億85百万円

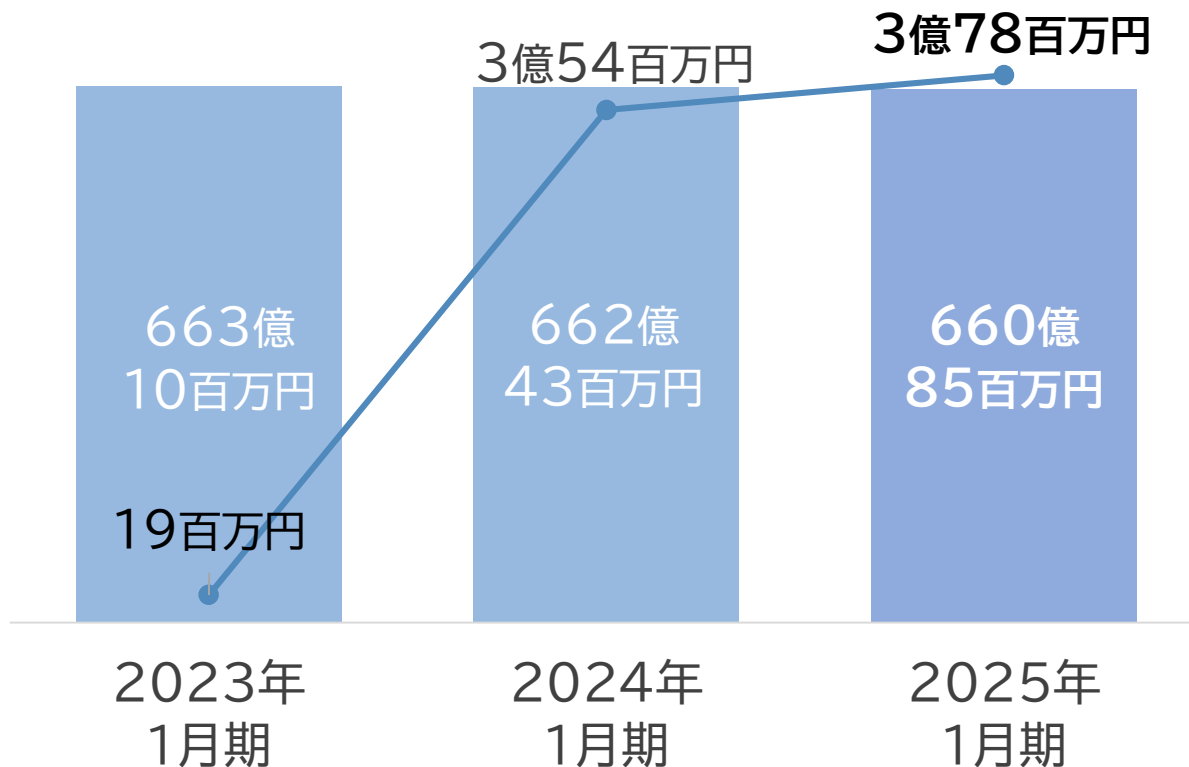
3億78百万円

対前年 -1億57百万円

対前年 +24百万円

[主要事業会社]

MARUZEN JUNKUDO



業績概要

減収増益

- ネット書店hontoの紙の書籍通販事業の終了の影響による微減収
- 書籍販売の堅調に加え、粗利率の高い文具や「EHONS」など雑貨販売、「駿河屋」FCによるリユース事業の成長が利益貢献

図書館サポート事業

- ・業務受託:カウンター業務、目録作成、蔵書点検等
- ・運営業務:指定管理者制度、PFI(民間資金等活用事業)

売上高

376億82百万円

対前年 +20億16百万円

営業利益

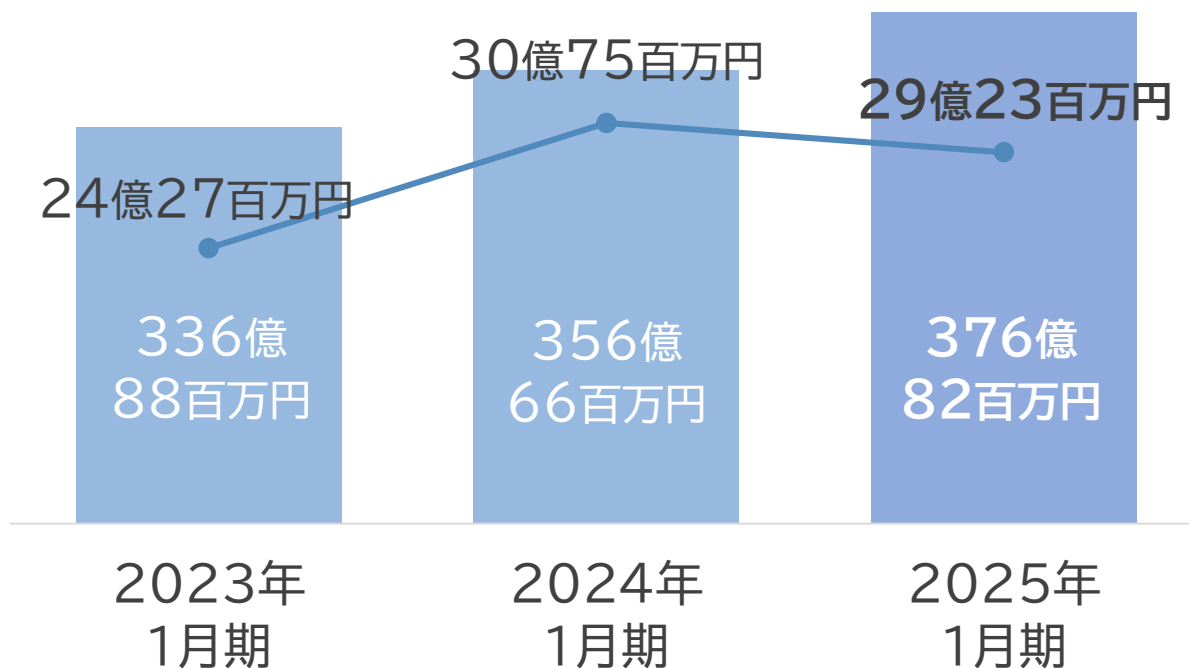
29億23百万円

対前年 -1億52百万円

[主要事業会社]

株式会社
TRC図書館流通センター

Ⓜ MARUZEN-YUSHODO



業績概要

増収減益

- 図書館(公共・大学・学校など)受託館数は前期末1,806館より、34館増加し、1,840館
- 業務効率化を進めるも、想定を超えた人件費や光熱費等の上昇の影響を吸収できず減益

出版事業

・大学テキスト等の専門書

・絵本・童話等の児童書

売上高

36億41百万円

対前年 -2億26百万円

営業利益

-1億7百万円

対前年 -2億22百万円

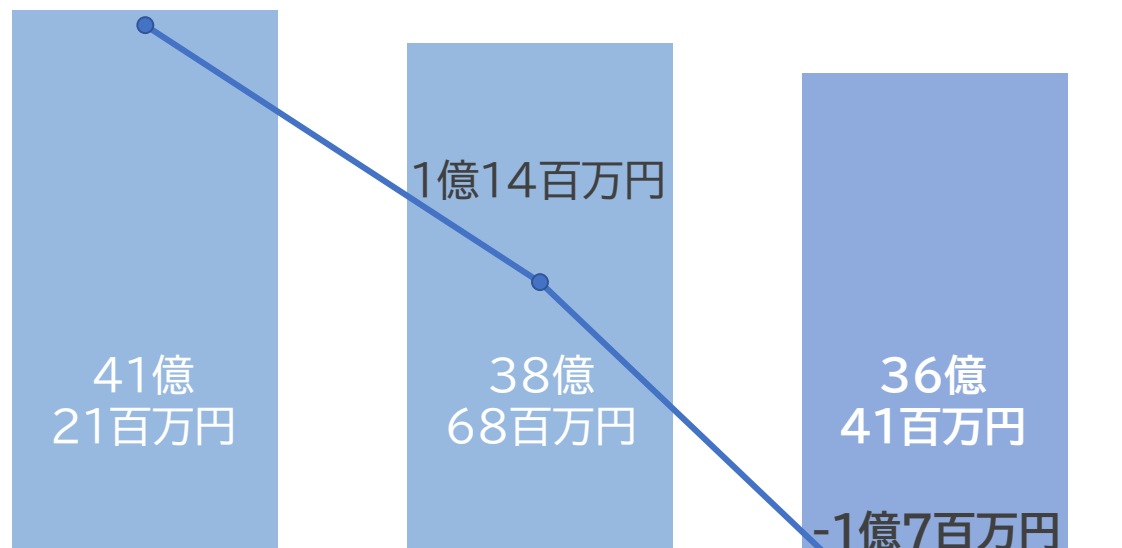
[主要事業会社]



この1冊が未来をつくる



2億65百万円



業績概要

減収減益

- 絵本・児童書分野及び専門書分野をあわせて271点を刊行(前期241点)
- 大学等の教科書や映像メディアの落ち込み、児童書市場の冷え込みや売れ筋絵本の刊行遅延が影響

その他事業

- Apple製品他PC修理サービス・総合保育サービス
- 店舗什器・内装・デザイン・コンサル・教育研修事業

売上高

営業利益

113億28百万円

3億54百万円

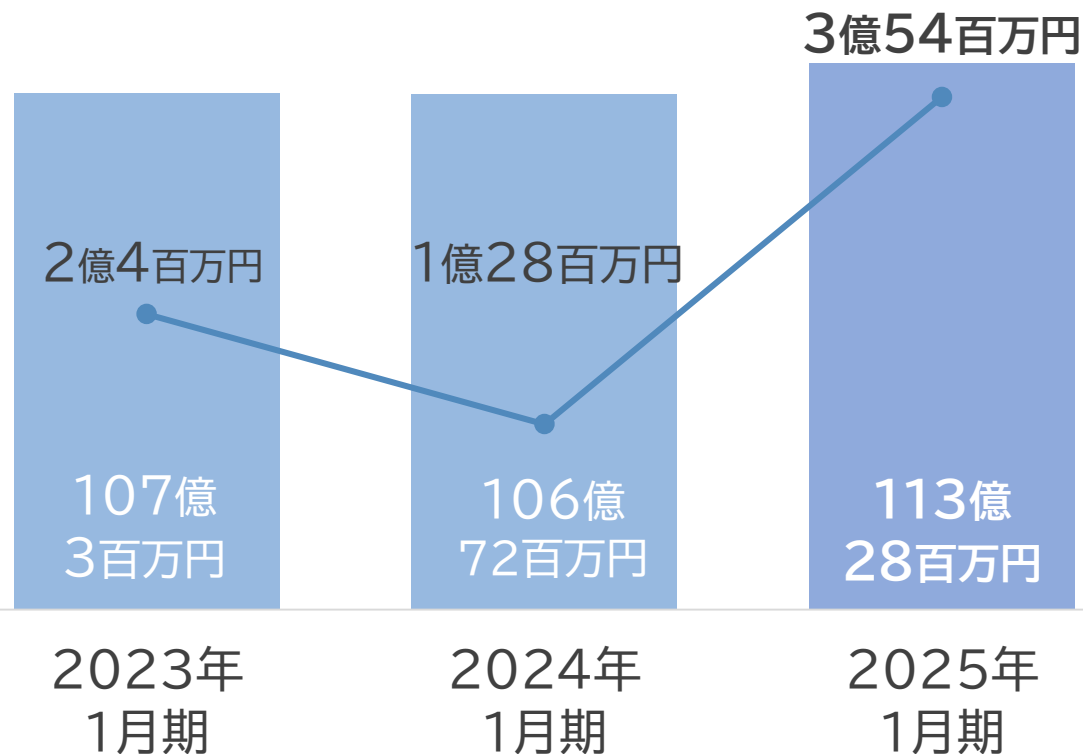
対前年 +6億56百万円

対前年 +2億26百万円

[主要事業会社]



編集工学研究所
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY



業績概要

増収増益

- 保育事業は、保育・子育てニーズの拡大を背景に成長続く
- 「丸善リサーチ」はサービス開始1年で会員数5,000名を突破
- 書店・小売向け設計デザイン・内装事業も、需要回復

その他の事業報告につきましては、

当社ウェブサイト掲載の
招集ご通知 13ページ から 28ページ を

ご高覧くださいますようお願い申し上げます

なお、対処すべき課題については
後ほど当期の取り組みとともにご説明いたします

◆連結および個別計算書類につきましては、

当社ウェブサイト掲載の

招集ご通知 [29ページ ~ 34ページ](#)

株主総会資料 [12ページ ~ 29ページ](#) を

ご高覧くださいますようお願い申し上げます

中期経営計画 (対処すべき課題)

中期経営計画(方針)

2025年1月期を初年度とする5カ年の経営の指針として「中期経営計画」を策定し、発表

中期経営計画で
目指す姿

知の生成と流通に持続的に貢献するための
成長力と資本効率の向上

基本方針

- ① **グループ資産の活用促進**
これまで培ってきたグループ資産の活用促進
- ② **成長領域の創出**
市場の環境変化に対応した新しい事業の開発による成長領域の創出
- ③ **収益構造の転換**
既存事業の安定化と成長事業への投資による、事業ポートフォリオの転換

中期経営計画(数値目標 財務・事業セグメント別)

第19期 2029年1月期目標

財務目標

- 売上高 2,000 億円
- 営業利益 85 億円
- 親会社株主に帰属する 純利益 50 億円
- ROE 7.5 %以上

事業セグメント別目標※

	売上高	営業利益
➤ 文教市場販売	500億円	40億円
➤ 店舗ネット販売	700億円	16億円
➤ 図書館サポート	480億円	39億円
➤ 出版	50億円	3億円
➤ その他	290億円	20億円

※売上高及び営業利益はセグメント間調整額を含めていない

中期経営計画(2025年1月期評価:取り組み)

主な進捗

- ▶ 新規事業の推進
 - グループ合同新規事業創出活動の開始
 - 丸善リサーチの成長 ※リリース1年で会員5,000名到達
 - 「丸善ジュンク堂書店アプリ」のリリース
- ▶ 中期経営計画推進委員会の発足・運営
 - グループ全体での現状共有と課題認識
 - 業績目標の設定と進捗管理

課題

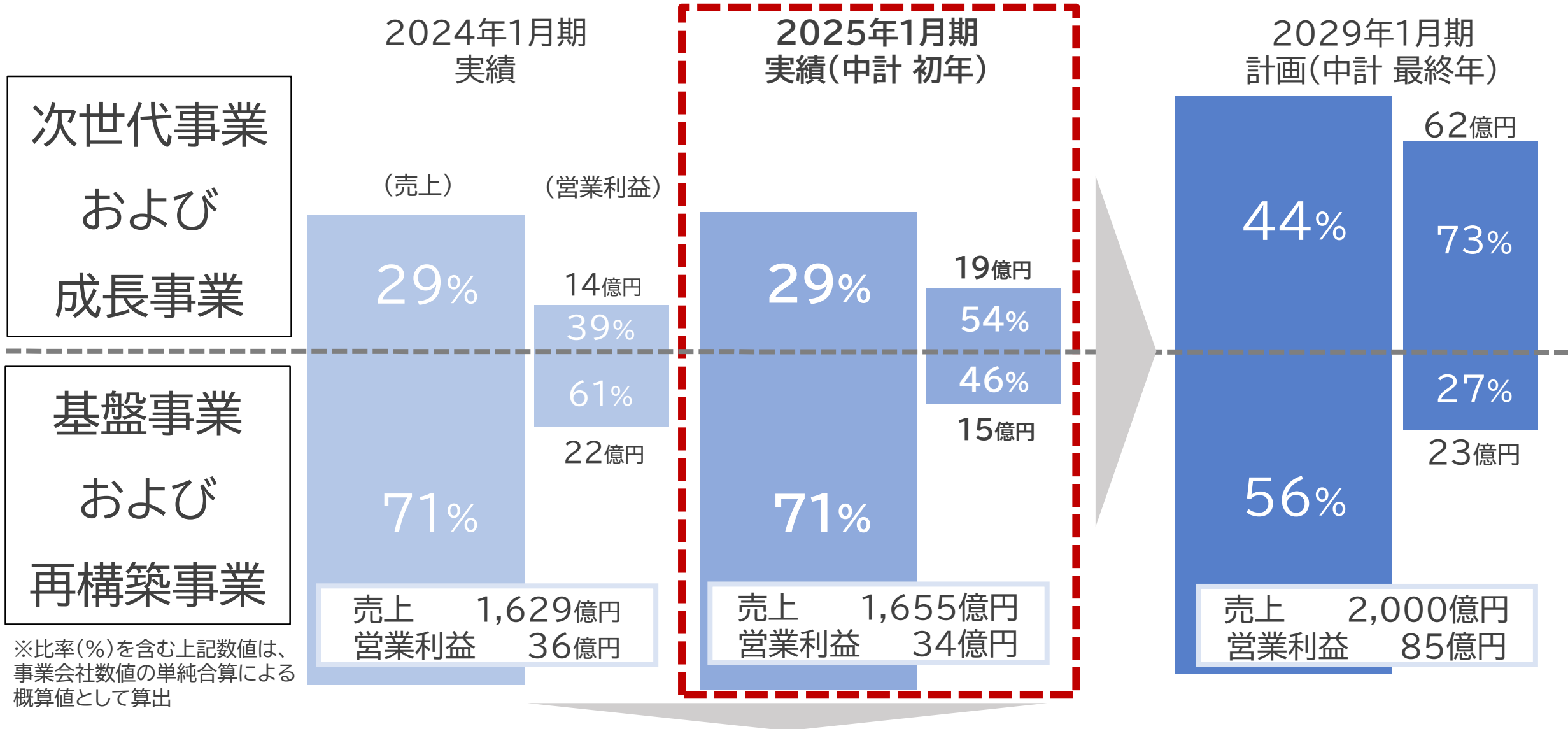
- ▶ [基盤／再構築]領域の立て直しと[次世代／成長]領域の成長加速
- ▶ 業績目標管理の精度向上
- ▶ 計画推進人材の補強

中期経営計画(2025年1月期評価:財務目標)

	2025年1月期 計画	2025年1月期 実績	進捗率	達成度
売上高	1,645	1,655	100.6%	達成
営業利益	34	34	99.9%	ほぼ達成
営業利益率	2.0%	2.0%	±0pt	達成
純利益	39	39	100.2%	達成
純資産	513	517	100.9%	達成
ROE	7.8%	8.0%	+0.2pt	達成

経営指標の数値目標はほぼ達成

中期経営計画(2025年1月期評価:収益構造の転換)



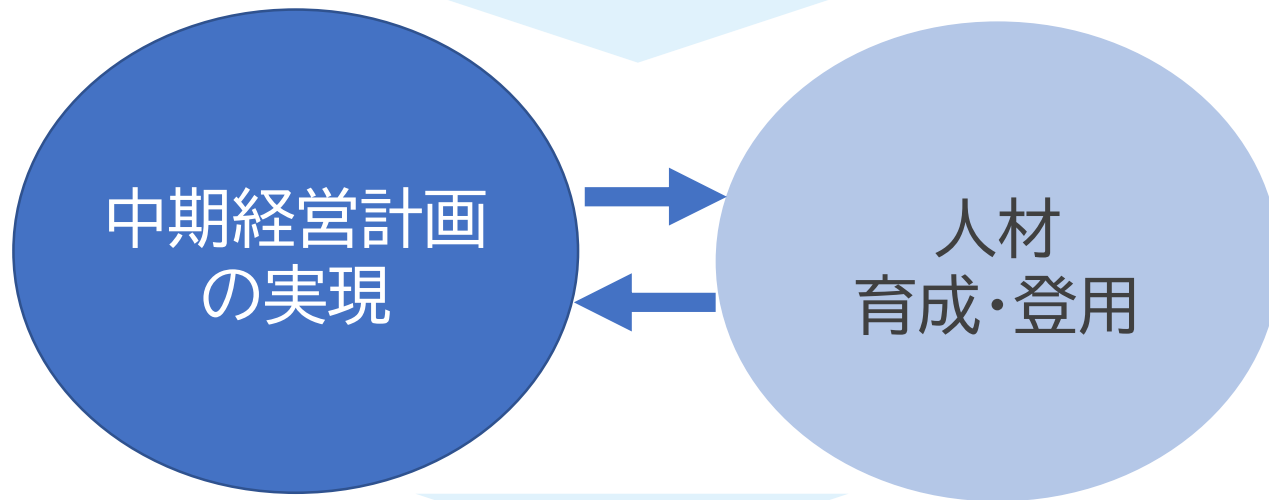
基盤・再構築事業の落ち込みに対し、構造転換の加速が必要

人的資本経営・ サステナビリティへの取り組み

人的資本経営への取り組み

中期経営計画の実現には、人的資本経営の推進が不可欠であると考え、成長戦略の遂行に必要な人材の育成・登用を積極的に取り組む

グループ目標の達成のための
人的資本経営の各施策の実行



グループ全体での人材の育成・登用と
活躍の場の創出

重点施策

- 各社の人事施策に加え、グループ人事交流や、共通研修制度確立など
- 次の世代の事業担う人材の育成・登用
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - 女性活躍の推進
 - 育児・介護両立サポートの充実
 - 病気と仕事の両立支援
 - 働く環境の改革

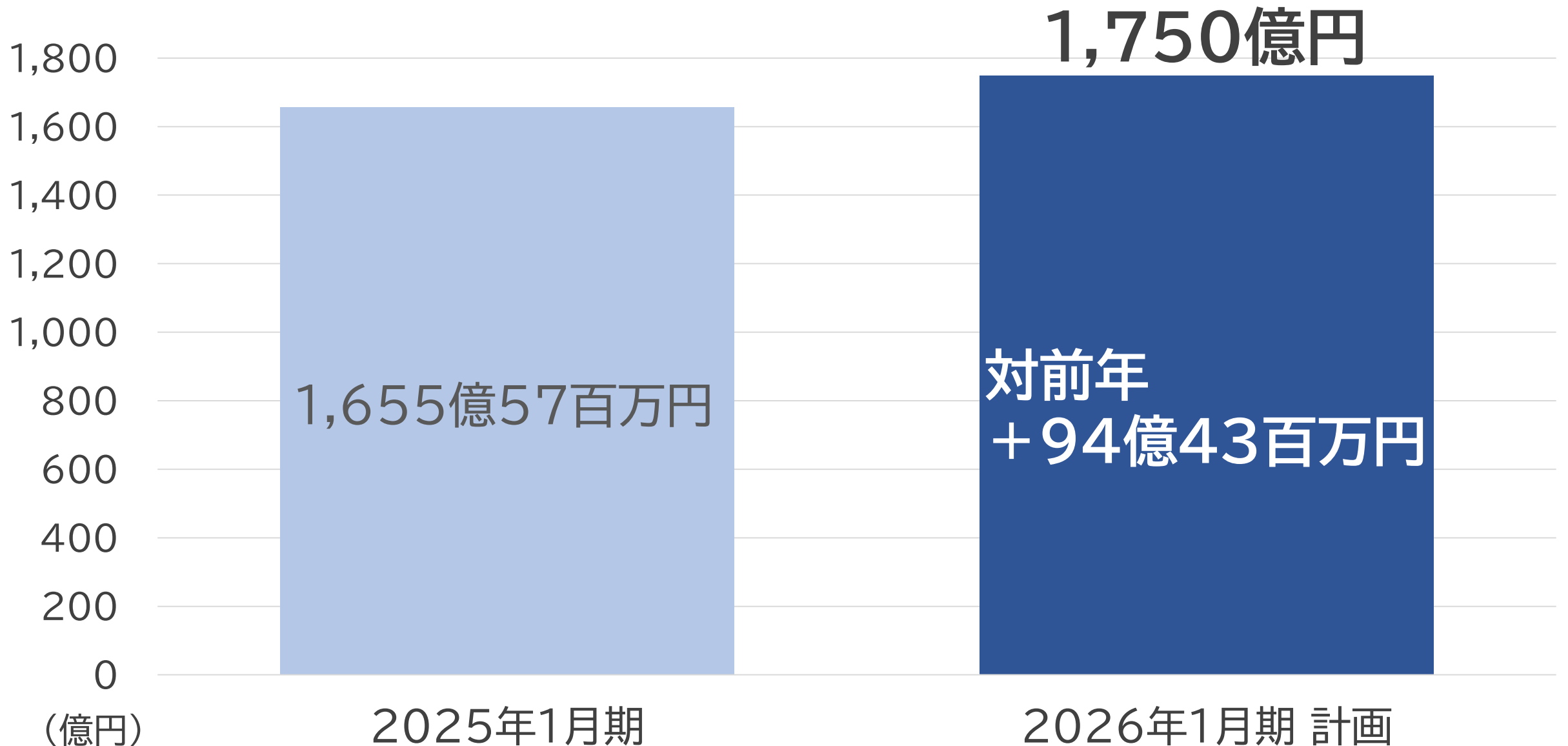
サステナビリティへの取り組み

6つのマテリアリティ(重要課題)を中期経営計画において具体化し、推進

マテリアリティ		主たる取り組み内容
教育・学習機会の促進への対策		こどもの持つ能力を引き出す教育環境やコンテンツの提供 図書館サービスの発展と持続可能な運営
知のインフラ構築とイノベーション推進		電子コンテンツの充実と活用促進、およびバリアフリー環境の実現
知の業界・地域・社会とのパートナーシップ		書店の減少への対策 居住エリアによる情報・教育の地域格差の是正
人類の尊厳と多様性の尊重		ダイバーシティ&インクルージョン
安全で活力ある職場の実現		働く意欲とパフォーマンスの向上 少子長寿化・人口減少に伴う図書館運営の担い手の不足
地球環境の保全と気候変動への対策		資源循環・廃棄物削減 環境に配慮したバリューチェーンの構築

第16期 2026年1月期計画

2026年1月期:売上高計画

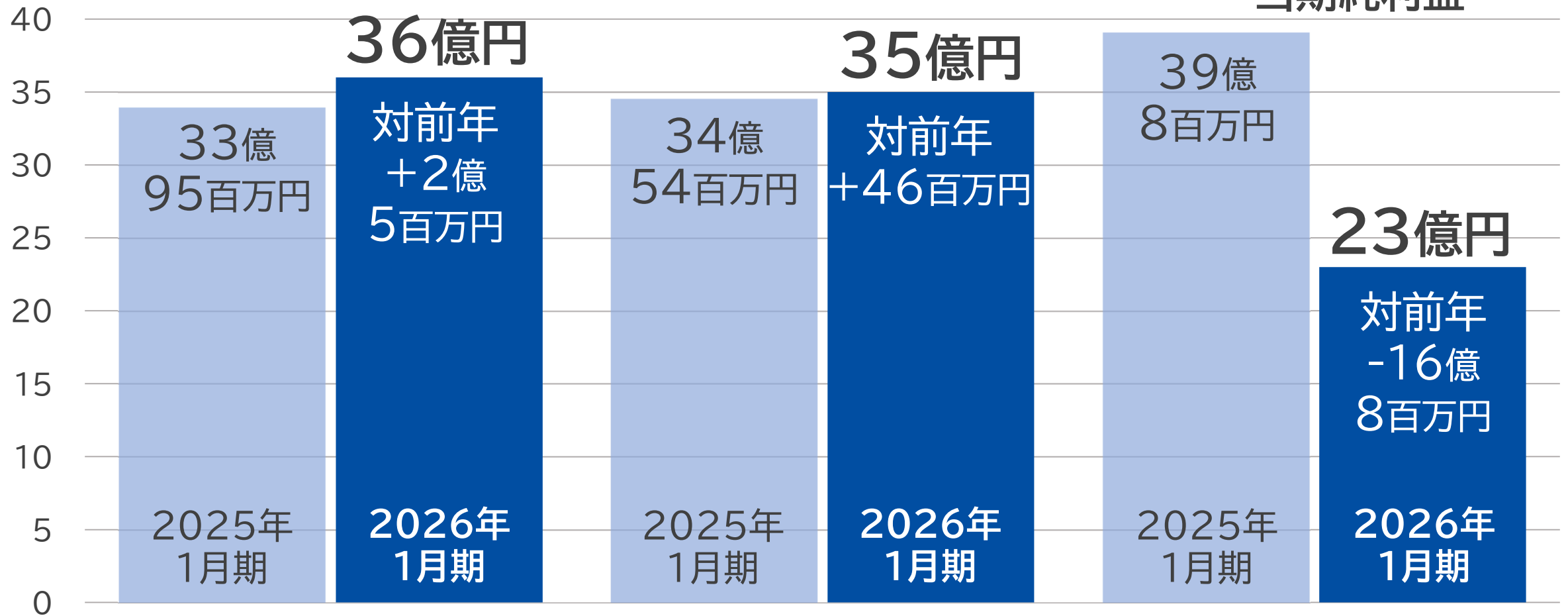


2026年1月期:利益計画

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する 当期純利益



(億円)

2026年1月期:配当計画

2024年公表の「中期経営計画」において記載のとおり、当社グループでは2029年1月期に配当性向30%以上とする目標を置き、「中期経営計画」の取り組みを推進することで収益性と資本効率を高め、株主に対する利益還元を促進することとしております。

この方針のもと、次期2026年1月期の配当につきましては、業績計画でお示しした利益が確保できることを前提に、1株当たり4円の配当を予定しております。

以上、対処すべき課題について
ご説明申し上げます

第15期 定時株主総会

本総会でご審議いただく 議案の概要 ご説明

第1号議案

剰余金の処分の件

【招集ご通知:5ページ】

第2号議案

取締役

(監査等委員である取締役を除く)

5名選任の件

【招集ご通知: 6ページ~10ページ】

質疑応答

スマートフォンから議決権行使を頂いた株主様に対して行ったアンケート調査には、たいへん多くの皆さまよりご回答をいただき、御礼申し上げます。

その中でとくにご関心をお寄せいただいた2点についてご回答申し上げます。

- (1)配当や株主優待などの株主還元について
- (2)当社の株価について

質疑応答

- ご発言に際しましては、挙手をお願いいたします。
- 議長が指名いたしましたら、マイクのところにご移動いただき、最初に入場票の番号とお名前をお願いいたします。
- ご質問は目的事項に関するものに限り、お一人様1回につき1問とさせていただきます。
- 出来るだけ要点をまとめてご発言くださいますようお願いいたします。
- 株主の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

議案の採決

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役(監査等委員を除く) 5名選任の件

本日はありがとうございました

今後ともご指導 ご鞭撻を賜りたく
宜しくお願い申し上げます



MARUZEN CHI
Holdings